



## 心臓血管集中治療室に入院した重症循環器疾患患者において社会経済的背景が院内予後へ及ぼす影響

2010年1月1日から2022年12月31日までに日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科に入院した重症循環器疾患患者さん

### 研究協力をお願い

当科では「心臓血管集中治療室に入院した重症循環器疾患患者における社会経済的背景が院内予後へ及ぼす影響」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2010年1月1日から2022年12月31日までに日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科に入院した重症循環器疾患患者さんの背景や転帰を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただきず、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

### (1) 研究の概要について

研究課題名：心臓血管集中治療室に入院した重症循環器疾患患者における社会経済的背景が院内予後へ及ぼす影響

研究期間：研究実施許可日～2028年12月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院 心臓血管集中治療科 助教・医員 澁谷 淳介

### (2) 研究の意義、目的について

日本において公的扶助受給者である重症循環器疾患患者さんの予後を明らかにすることで、日本の社会保障制度の心血管集中治療における影響や、公的扶助受給者に要する医療費との関連調査することで、国内では先行論文が数少ないこともあり、今後の日本の社会保障制度と心血管集中治療の更なる発展に貢献する可能性があります。

### (3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2010年1月1日から2022年12月31日までに日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科（以下、CCU）に入室した重症循環器疾患（タコつぼ心筋症、急性心筋炎、急性心筋梗塞、急性心不全、狭心症、肺塞栓症、不整脈）の患者さんを公的扶助受給者と非公的扶助受給者の二群に分けて比較します。収集する情報は以下の通りです。

情報：年齢、性別、既往歴、内服薬内容、身長、体重、入院期間、入院時バイタルサイン（血圧、心拍数）、基礎心疾患（原因となっている心臓の病気）、冠危険因子の有無と内容（高血圧、糖尿病、脂質異常症、家族歴、喫煙など）、保険区分、住所、心不全入院歴、その他入院歴、医療費、予後（心臓血管集中治療からの退院、死亡率など）、心エコー、心電図、CT、MRI、血液検査、尿検査。

試料：なし。

### (4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

### (5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

### (6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 心臓血管集中治療科 助教・医員 澁谷 淳介

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：24374

メールアドレス：j-shibuya@nms.ac.jp